季刊（4月・7月・10月・1月　発行）

Gifu Occupational Therapist Association News

ごったに 92号

2019年 1 月

事務局：平成医療短期大学 リハビリテーション学科作業療法専攻
〒501-1131 岐阜市黒野180 TEL＆Fax:058-234-6763
E-mail:jimu@gifu-ot.com　http://gifu-ot.com

特集

＜岐阜圏域の５区分（ブロック）化について＞

目次

・巻頭言（「作業」縛り）
・特集記事（岐阜圏域の５区分（ブロック）化について）
・活動報告
・私の職場の強み（各務原リハビリテーション病院）
・突撃！となりの作業療法士（伝えるということ）
・新入会員紹介

「『作業』縛り」

岐阜県総合医療センター
池　戸　秀　行

先日、中学生職場体験を担当する機会がありました。流れとしては座学、見学、障害体験になります。座学では「作業療法とは」と定義から始めます。「作業療法は人々の健康と幸福を促進します、作業とは人々が日常生活に関わる全ての活動を言います・・・」と協会の新定義に沿って説明しました。関係者としてはとてもよくできた定義になったと思います。しかし中学生に作業療法のイメージについて尋ねると「物を作って何か行う」という返答が返ってきました。「作業」という単語の響き、もしくは法律は「手芸、工作を行わせる」と定義されているからでしょうか。

30年前就職した当時は確かに手工芸をよく利用していました、というか行わなければいけないと思っていました。法律に基づいた事をしていました。また周りも「作業療法」は手、上肢に特化したものという捉われ方でした。

現在は10年近く前の医政局長通知（確か吸引が可能になった通知と同じ頃、内容は「ＯＴは手工芸を行うのではなくＡＤＬ訓練をする職種」）の効果もあり、頚部骨折、内部障害、廃用、がんとほぼＰＴと同等に処方されるようになりました。訓練内容も、もちろん手工芸は行わず作業台より平行棒の方がはるかに使用頻度は多くなりました。移動動作ができれば大抵のＡＤＬは可能になるという持論のもと歩行練習にかなりの時間を割いています。

さて、中学生に話を戻しますが、座学の次は見学です。ＯＴが歩行練習を行っています、ＰＴとの区別はつきません。「急性期はＰＴと同じ練習を行い離床の頻度を上げることが大事です、ここにＯＴらしさはありません。」と都合のいい説明をします。こんな説明で果たして理解してもらえたのでしょうか。急性期という言葉で逃げてはいないでしょうか。最後は障害体験です。ボタンエイド、ソックスエイドなどを体験してもらい、「これはＯＴならではの分野です」とこれまた都合のいい説明をし、実際の現場ではめったに行われない項目を体験して終了です。

この体験を行った中学生は将来ＯＴを目指してくれるでしょうか。おそらくＰＴを目指すでしょう。「ＯＴらしさ、ＯＴにしかできない分野」ということが明確に伝えられないからです。ではＯＴらしさを伝えるためにはどうしたらよいでしょうか。①協会が進めているＭＴＤＬＰなどが世間に認知され、協会の定義が一般の人が持つイメージと一緒になる。②病院はＰＴ、介護保険下はＯＴと住み分けをする。③法律を改訂し「作業」という名称を改訂する。などと自分なりに考えてはみたもののどれも実現は困難です。今後職場体験を担当する機会はまたありますがその時は「ＯＴは学校に入りやすい、ＰＴよりも就職先がある」と裏情報を教え志望者を増やすのが一番手っ取り早いでしょうか。

特集記事

岐阜圏域の活動区分について

地方局（岐阜圏域）

藤井稚也（岐阜保健短期大学）
廣瀬哲司（自宅）

岐阜地方局圏域（6市3町）は、会員数260人、会員所属施設54ヶ所で構成されており、圏域内の統制、ならびに研修会・交流会などの企画運営、情報共有などは容易ではない。また、地域包括ケア時代に対応するための組織的運営が緊急の課題であった。そこで、平成30年度より、圏域を5区分化し、区分・エリア別の地方局活動展開をしてきた。以下、今年度の活動を報告する。

	ブロック	ブロック長		これまでの活動
1	岐阜市 中央部・南西部	山田貴章 山田メディカルクリニックリハビリセンター		☞連絡網を作成済み。 ☞9月13日（木）地方局説明会を開催した。講師に須貝会長をお招きし、OT に求められている役割と岐阜県の現状について情報の共有を図った。
2	岐阜市北西部 瑞穂市 本巣市 北方町	石川真太郎 山田病院		☞連絡網を作成済み。 ☞年度内の勉強会の開催を予定している。 ☞会員数の多い施設が複数あり、経験豊富な会員も多いのが特徴。 ☞会員のニード把握が課題である。
3	岐阜市 南東部・北東部 山県市	林　節也 岩砂病院・岩砂マタニティ		☞現在、連絡網を作成中。 ☞地方局説明会または勉強会の開催を予定している。 ☞急性期から維持期、複数の領域で活躍する会員が多いのが特徴。 ☞会員のニード把握が課題である。
4	羽島市 岐南町 笠松町	政井俊麿 羽島市民病院		☞連絡網を作成済み。 ☞10月26日（金）地方局説明会を開催した。 ☞ブロック内の施設で勤務する OT 数に対して、協会・士会会員数が少ないことが課題である。 ☞羽島市と羽島郡岐南町にて地域ケア会議への OT 派遣要請あり。
5	各務原市	吉田圭佑 特別養護老人ホーム菜の花		☞連絡網を作成済み。 ☞8月8日（水）地方局説明会を開催した。 ☞ブロック内の病院は定期的な勉強会を開催しており、概ねネットワークは形成されている。 ☞今後は介護保険施設に勤務する OT を含めた交流・意見交換等を実施していく。

今後、地方局の役割は、個のセラピストとしての知識や技術ならびに各種情報（法改訂、点数変更、実習規定の変更 等）の共有のみならず、専門職団体（法人・社員）として地域リハへ参入することやJRAT に代表されるように災害時派遣に波及することが予測されている。

岐阜県作業療法士会　活動報告

平成 30 年 10 月～ 12 月

研修会

【地域包括ケア推進リーダー導入研修】
日時：10 月 20 日（土）
場所：JA 岐阜厚生連　久美愛厚生病院
内容：地域ケア会議へ出席するリハ専門職の育成（基礎編）
参加者数：６名
担当：社会局・地域リハ推進部

【介護予防推進リーダー導入研修】
日時：10 月 21 日（日）
場所：JA 岐阜厚生連　久美愛厚生病院
内容：地域の介護予防事業をサポートするリハ専門職を育成（基礎編）
参加者数：７名
担当：社会局・地域リハ推進部

【第５回災害対策研修会】
日時：11 月 11 日（日）
場所：岐阜県総合医療センター
内容：岐阜県における災害時リハビリテーション体制の現状と課題、災害とリハビリテーション等
参加者数：35 名
担当：岐阜県リハビリテーション協議会

【地域包括ケア推進リーダーアドバンス研修】
日時：12 月１日（土）
場所：ハートピア安八
内容：地域ケア会議へ出席するリハ専門職の育成（応用・実践編）
参加者数：６名
担当：社会局・地域リハ推進部

【第７回東海北陸リーダー養成研修】
日時：12 月１日（土）13:30 ～２日（日）12:30
場所：大垣徳洲会病院
内容：次世代リーダー向け研修、ワンペーパー資料作成研修、懇親会
参加者数：33 名（東海北陸 OT 士会から代表 3-5 名ずつ）
担当：林副会長・総務部員・建石（朝日大学病院）

【介護予防推進リーダーアドバンス研修】
日時：12 月２日（日）
場所：ハートピア安八
内容：地域の介護予防事業をサポートするリハ専門職を育成（応用・実践編）
参加者数：３名
担当：社会局・地域リハ推進部

【第２回現職者共通研修】
日時：12 月 16 日（日）
場所：近石病院
内容：講義①「保健・医療・福祉と地域支援」、②「事例検討」、③「事例報告」
参加者数：①34 名、②28 名、③９名
担当：教育局・現職者研修部

【MTDLP 事例検討会】
日時：12 月 16 日（日）
場所：近石病院
内容：MTDLP を用いた事例検討会
参加者数：15 名
担当：教育局・現職者研修部

【「活動と参加」をすすめる福祉用具・住環境整備研修会（岐阜県訪問リハビリテーション実務者研修会）】
日時：12月15日（土）～16日（日）
会場：特別養護老人ホーム　ナーシングケア寺田
内容：講演（活動参加をすすめるための住環境について）、福祉機器の講習・体験会
参加者数：OT８名、PT24名、ST１名
担当：岐阜県リハビリテーション協議会

啓発活動

【第23回大垣市民の健康広場】
日時：10月21日（日）
場所：大垣城ホール
内容：治療道具展示、お子様向け企画
担当：社会局・事業部

【第39回ぎふ市民の健康まつり】
日時：11月４日（日）
場所：岐阜市文化センター
内容：生活動作チェック、うちわ作り
担当：社会局・事業部

【RUN伴＋（PLUS）みずほ】
日時：11月４日（日）
場所：瑞穂市内
内容：地域での認知症サポート等啓発。当事者の方々や一般市民の方々と、市内をタスキで繋ぎながら走りました

啓発活動　第23回大垣市民の健康広場

当士会のブースには延べ約 160 名の方が足を運んでくださいました。治療道具展示では御来場の方々から「この道具はどんなリハビリに使うの？」と多くの質問があり、スタッフが丁寧且つ具体的に答えていました。お子様向けに用意した企画では、お絵かきとハロウィン駄菓子をお子様にプレゼントしました。こちらも好評で、子供たちが真剣に作業に取り組む姿が印象的でした。運営スタッフとして参加してくださった西濃地域の作業療法士の皆様、サンビレッジ国際医療福祉専門学校の学生さん達のお陰で今年も作業療法を広めることが出来ました。本当にありがとうございました。（山田・安井）

啓発活動　第39回ぎふ市民の健康まつり

健康まつりのテーマが糖尿病ということで、糖尿病の予防をテーマに、ブースへ来られた方に生活動作チェックを行っていただきました。家事や趣味活動を多くされている方は活動量も多い状態でしたが、趣味や役割が少なくなっている方などは活動量も少なくなっている傾向がみられました。運動する機会も良いですが、「家事や趣味活動をする事でも運動量は増える」ことなど、生活行為の大切さを伝えることができました。また、うちわ作りのコーナーも設け、多くの方にご参加頂きました。どのコーナーも笑顔や活気にあふれており、市民の皆様の健康に対する意識の高さを肌で感じた一日でした。平成医療短期大学の学生さんも含め、運営に協力頂いたスタッフの皆様、本当にありがとうございました。（山田）

私の職場の強み

第10回

医療法人社団誠道会
各務原リハビリテーション病院

【医療】
回復期病棟（20 床）　外来リハ（午前のみ）
療養病棟（50 床）　訪問リハ（午後のみ）
特殊疾患病棟（46 床）
【介護】
入所サービス（介護老人保健施設）　特別養護老人施設
通所サービス（デイケア）

当院の新しい取り組み

院外リハ

駅から近いこともあり平成28 年度の改定で認められた屋外リハビリを積極的に実施！退院後の生活範囲の拡大や安全性の向上を目指すうえで有効！

ドライブリハ

当院では、近隣の自動車学校と協力し、ドライブリハビリを実施！「退院後に運転したい」と言う患者様の願いを病院と自動車学校のタッグでサポート！

夜勤業務　および　ケア業務

当院では夜勤業務およびケア業務をリハも実施！
『24 時間』生活をサポート
　より早く夜間も歩行を開始
　より早くトイレでの排泄を開始
　食事・排泄・入浴など個別リハ以外でも
　「しているレベル」での関わり

職種の隔たりなく勉強会や教え合いがあります！

当院では、患者様のより良い生活や QOL の向上の為に、日々成長や新たな取り組みにトライしています！

OT としての専門性だけではなく、PT、ST、CW との技術や知識の共有を行う事が病院内での生活の質を高め、退院後の生活をより良いものに出来ると考えています。

第12回
突撃となりの作業療法士

株式会社ALTHEA　テラスあるてあ
村田　美貴　先生からのご紹介

「伝えるということ」

医療法人　香風会　黒野病院
松　江　将　宏

職歴：
平成21年　介護老人保健施設　菜の花　入職
平成26年　黒野病院　入職

略歴：
平成21年　岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科
作業療法科　卒業

身体障害領域から精神障害領域に移り５年目となります。管理職として立ち上げに近い状態からスタートし、OT部門の運営をなんとかこなしてきましたが、毎日が問題の連続で「これで大丈夫なのか」と自問自答の日々でした。非常勤講師の指導や周囲の支えもあり、今日まで仕事を続けることができましたが、いつも“物事をどう伝えるか?”で悩みました。それは、上司や部下、部署間の話し合いで内容が伝わらず感情的になり衝突することが数多くあったためです。そこで、OT評価のように背景因子などから相手のことを客観的に把握し、自分の立場と比較しながらあらゆる場面を想定し双方が納得できるような内容や環境を提示すると伝わることが増えてきました。まだまだ未熟ではありますが、伝えることは作業療法でもとても重要な技術であるので今後も大切にしていきたいです。

【会員数・会員所属施設数】
平成 30 年 12 月 24 日現在
岐阜県作業療法士会会員数 572 名
所属施設数　148 施設

生涯教育部

各研修会の受講証明書をお持ちの方は、下記住所へ郵送を。内容を確認出来次第、生涯教育ポイントシールを郵送にて配布します。
平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）開催分の受講証明書は、平成31年3月中旬までに郵送をお願いします。

〒502-0812　岐阜市八代1-7-1
岩砂病院・岩砂マタニティ
リハビリテーション科　作業療法室
林　節也　宛

＊往信用封筒には「受講証明書在中」と朱書き
＊受講証明書と返信用封筒（82円切手貼付）を同封

機関誌編集部

機関誌「岐阜作業療法」論文投稿のお願い

日頃より機関誌編集部の活動にご協力頂きまして、厚く御礼申し上げます。
この度、機関誌「岐阜作業療法」発刊に向けて準備を進めておりますが、現在、論文の投稿が少ない状況です。
岐阜県作業療法学会だけでなく、今年開催されました日本作業療法学会等、他学会で発表された方も、論文として岐阜作業療法に投稿してみてはいかがでしょうか？
「論文を書くのは難しそうだ」と思っている方も多いと思います。査読等の手続きを通して、掲載までサポートしますのでご検討頂けると幸いです。よろしくお願い致します。

機関誌編集部　石川真太郎
s-ishikawa@wakokai.or.jp

広報部

岐阜県作業療法士会ニュース
「ごったに」編集
岐阜県作業療法士会（広報部・会員向け）

岐阜清流病院
リハビリテーション療法課　作業療法室
〒501-1151　岐阜市川部 3 丁目 25 番地
TEL. 058-239-8111
FAX. 058-239-8216

山田病院
リハビリテーション科　作業療法部門
〒501-0104　岐阜市寺田 7 丁目 110 番地
TEL. 058-254-1411
FAX. 058-254-1413

印刷　**（有）いすくら**
〒501-2514 岐阜市三輪宮前 164-1
TEL.058-229-6091 FAX.058-229-6093
isukra@muse.ocn.ne.jp

【編集後記】
新年を迎えますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。広報部スタッフ一同を今年もよろしくお願い致します。皆さんに良いものをお届けできるよう、更なる努力をして参りますので、ご協力よろしくお願い致します。